

大学番号 私立270

注3

設置年度 平成 30年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

広島女学院大学 人間生活学部 児童教育学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人広島女学院

令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課（企画秘書）

職名・氏名 カチヨウダイリ アベキョウコ
課長代理・阿部享子

電話番号 082-228-0546

（夜間） 082-228-0546

e-mail kaiso@gaines.hju.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人間生活学部

<児童教育学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	22
6. 附帯事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	38

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人広島女学院

(2) 大学名

広島女学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒732-0063

広島県広島市東区牛田東四丁目13番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナカガワ ヒデオ) 中川 日出男 (平成27年6月)		
学長	(ミナト アキコ) 湊 晶子 (平成26年4月)	(ミタニ タカヤス) 三谷 高康 (令和3年4月)	任期満了のため変更 令和3年4月1日(3)
学部長	(ヤマシタ キョウコ) 山下 京子 (平成30年4月)		
学科長	(トダ ヒロノブ) 戸田 浩暢 (平成30年4月)	(モリヤス ナオミ) 森保 尚美 (令和2年4月)	任期満了のため変更 令和2年4月1日(2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人間生活学部 児童教育学科 学士（教育学）	教育学・保育学関係	4年	90人	— 年次人	360人	新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	—	—	90	—	90	—	90	—	90	—	0.78倍	—	
志願者数	(—)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)	(1)	(—)	(0)	(—)			
受験者数	(—)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)	(1)	(—)	(0)	(—)			
合格者数	(—)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)	(1)	(—)	(0)	(—)			
B 入学者数	(—)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)	(1)	(—)	(0)	(—)			
入学定員超過率 B/A	—		0.91		0.86		0.70		0.67				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次			82 [0] (-)	- [-] (-)	78 [0] (-)	- [-] (-)	63 [0] (-)	- [-] (-)	61 [0] (-)	- [-] (-)			
2年次					81 [0] (-)	- [-] (-)	76 [0] (-)	- [-] (-)	62 [0] (-)	- [-] (-)			
3年次							81 [0] (-)	- [-] (-)	75 [0] (-)	- [-] (-)			
4年次									81 [0] (-)	- [-] (-)			
計	- [-] (-)		82 [0] (-)		159 [0] (-)		220 [0] (-)		279 [0] (-)				

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
平成30年度	82 人	1 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
令和元年度	159 人	2 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、進路変更(他大学1人)
令和2年度	220 人	2 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	1 人	0 人	心神耗弱(1人)
			令和2年度	1 人	0 人	海外留学(1人)
令和3年度	279 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合計		5 人		5 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{82} = \boxed{1.21} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{159} = \boxed{1.25} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{220} = \boxed{0.9} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{279} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間生活学部 児童教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	キリスト教学入門Ⅰ	1前	2								1
	キリスト教学入門Ⅱ	1後	2								1
	初年次セミナー	1前	2			5	5				
	日本語表現技法	1前	2			1					1
	情報リテラシーⅠ	1前	2								2
	情報リテラシーⅡ	1後	2								2
	基礎英語Ⅰ	1前	1								3
	基礎英語Ⅱ	1後	1								3
	基礎英語Ⅲ	2前	1								3
	基礎英語Ⅳ	2後	1								3
	基礎日本語Ⅰ	1前		1							1
	基礎日本語Ⅱ	1後		1							1
	基礎日本語Ⅲ	2前		1							1
	基礎日本語Ⅳ	2後		1							1
小計(14科目)	-	-	16	4	0	5	5	0	0	0	9
必修	キャリアプランニング	1前	2			5	5				1
	女性とライフキャリア	2前	2			1					2
	女性史	1前		2							3
	女性とライフスタイル	1後		2			1				6
	Women in Christianity	1後		2							1
	女性文学の世界Ⅰ(近現代編)	2前		2							1
	キリスト教と女性	2後		2							1
	Women & the World Ⅰ	2後		2							1
	対人関係の心理	1前		2		1					2
	キリスト教と教育	1前		2							1
	Intercultural Communication Ⅰ	1後		2							1
	暮らしを営む食と健康	2前		2							4
	子育てとライフキャリア	2後		2		1					
	ライフキャリア特別講義Ⅰ	1前		2							1
ライフキャリア特別講義Ⅱ	1後		2							1	
ライフキャリア特別セミナーⅠ	1前		2							1	
ライフキャリア特別セミナーⅡ	1後		2							1	
オープンセミナーⅠ	1前		1		5	5					
オープンセミナーⅡ	1前		2		5	5					
スポーツ科学Ⅰ	1前		1							1	
スポーツ科学Ⅱ	1後		1							1	
日本国憲法	1後		2							1	
外国語(英語Ⅰ)	1前		1							5	
外国語(英語Ⅱ)	1後		1							5	
外国語(英語Ⅲ)	2前		1							3	
外国語(英語Ⅳ)	2後		1							3	
外国語(フランス語Ⅰ)	1前		1							1	
外国語(フランス語Ⅱ)	1後		1							1	
外国語(韓国語Ⅰ)	1前		1							1	
外国語(韓国語Ⅱ)	1後		1							1	
外国語(中国語Ⅰ)	1前		1							1	
外国語(中国語Ⅱ)	1後		1							1	
外国語(日本語Ⅰ)	1前		1							1	
外国語(日本語Ⅱ)	1後		1							1	
外国語(日本語Ⅲ)	2前		1							1	
外国語(日本語Ⅳ)	2後		1							1	
小計(45科目)	-	-	4	69	0	6	6	0	0	0	37

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	キリスト教学入門Ⅰ	1前	2								1
	キリスト教学入門Ⅱ	1後	2								1
	初年次セミナー	1前	2					6	3	1	
	日本語表現技法	1前	2					1			2
	情報リテラシーⅠ	1前	2								3
	情報リテラシーⅡ	1後	2								3
	基礎英語Ⅰ	1前	1								2
	基礎英語Ⅱ	1後	1								2
	基礎英語Ⅲ	2前	1								3
	基礎英語Ⅳ	2後	1								3
	基礎日本語Ⅰ(未開講)	1前		1							1
	基礎日本語Ⅱ	1後		1							1
	基礎日本語Ⅲ	2前		1							1
	基礎日本語Ⅳ	2後		1							1
小計(14科目)	-	-	16	4	0	6	3	1	0	0	10
必修	キャリアプランニング	1前	2			6	3	1			
	女性とライフキャリア	2前	2			1					6
	女性史	1前		2							2
	女性とライフスタイル	1後		2			1				6
	Women in Christianity	1後		2							1
	女性文学の世界Ⅰ(近現代編)	2前		2							1
	キリスト教と女性	2後		2							1
	Women & the World Ⅰ	2後		2							1
	対人関係の心理	1前		2		1					2
	キリスト教と教育	1前		2							1
	Intercultural Communication Ⅰ	1後		2							1
	暮らしを営む食と健康	2前		2							4
	子育てとライフキャリア	2後		2		1					
	ライフキャリア特別講義Ⅰ	1前		2							1
ライフキャリア特別講義Ⅱ	1後		2							1	
ライフキャリア特別セミナーⅠ	1前		2				1				
ライフキャリア特別セミナーⅡ	1後		2				1				
オープンセミナーⅠ	1前		1				6	3			
オープンセミナーⅡ	1前		2				6	3			
スポーツ科学Ⅰ	1前		1						1		
スポーツ科学Ⅱ	1後		1						1		
日本国憲法	1後		2							1	
外国語(英語Ⅰ)	1前		1							2	
外国語(英語Ⅱ)	1後		1							2	
外国語(英語Ⅲ)	2前		1							1	
外国語(英語Ⅳ)	2後		1							1	
外国語(フランス語Ⅰ)	1前		1							1	
外国語(フランス語Ⅱ)	1後		1							1	
外国語(韓国語Ⅰ)	1前		1							1	
外国語(韓国語Ⅱ)	1後		1							1	
外国語(中国語Ⅰ)	1前		1							1	
外国語(中国語Ⅱ)	1後		1							1	
外国語(日本語Ⅰ)	1前		1							1	
外国語(日本語Ⅱ)	1後		1							1	
外国語(日本語Ⅲ)	2前		1							1	
外国語(日本語Ⅳ)	2後		1							1	
小計(45科目)	-	-	4	69	0	7	4	1	0	0	31

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	学科発展科目Ⅱ（幼児教育分野）	子どもの保健Ⅲ	3前	1							1
		子どもの食と栄養	2後	2							1
		乳児保育	3前	2			1				
		社会的養護	2前	2							1
		社会的養護内容	2後	1							1
		幼児教育相談	2後	2			1				
		相談援助	3前	2							1
		保育相談支援	3後	1			1				
		障害児保育	3後	2			1				
		家庭支援論	4前	2							1
		発達心理学	3後	2				1			
		保育の心理学Ⅱ	3前	2				1			
	保育内容(表現Ⅲ)	3前	2			1	1				
	キリスト教保育	2後	2				1			2	
	子どもと遊び	2後	2							1	
	保育ボランティア	3前	2							1	
	児童文化	3後	2			1	1				
	地域子育て支援セミナー	3後	2			1	1				
	教科教育	国語(書写を含む)	2前	2			1				
		社会	2後	2			1				
算数		3前	2			1					
理科		2前	2			1				1	
生活		2後	2				1				
家庭		2後	2				1			3	
音楽Ⅰ		1前	2				1				
音楽Ⅱ		1後	2				1				
図画工作Ⅰ		1後	2			1					
図画工作Ⅱ		2前	2			1					
体育Ⅰ		2前	2							1	
体育Ⅱ		2後	2							1	
初等英語	4前	2							1		
教育・保育実習	初等教育実習Ⅰ	2通	2			1	2				
	初等教育実習Ⅱ	4通	2			1	2				
	初等教育実習Ⅲ	4通	2			1	1				
	初等教育実習Ⅳ(事前・事後指導)	2通	1			1	2				
	介護等体験Ⅰ	3通	1			1	2				
	介護等体験Ⅱ(事前・事後指導)	3通	1			1	2				
	保育実習Ⅰ	3通	4			1	1				
	保育実習Ⅱ	4前	2			1	1				
	保育実習Ⅲ	4前	2				1				
	保育実習指導Ⅰ	3通	2			1	1				
保育実習指導Ⅱ	4前	1			1	1					
保育実習指導Ⅲ	4前	1				1					
セミナー	児童教育セミナーⅠ	3前	1			3	6				
	児童教育セミナーⅡ	3後	1			3	6				
	児童教育セミナーⅢ	4前	1			3	6				
	児童教育セミナーⅣ	4後	1			3	6				
	卒業論文	4後	4			3	6				
小計(106科目)	-	19	181	0	6	6	0	0	0	35	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	学科発展科目Ⅱ（幼児教育分野）	子どもの保健Ⅲ(未開講)	3前	1							1
		子どもの食と栄養	2後	2							1
		乳児保育Ⅰ	2後	2				1			
		乳児保育Ⅱ	3前	1				1			
		子どもの健康と安全	3前	1							1
		社会的養護Ⅰ	2前	2							1
		社会的養護Ⅱ	2後	1							1
		社会的養護	2前	2							1
		社会的養護内容	2後	1							1
		幼児教育相談	2後	2				1			
		子ども家庭支援論	3前	2							1
		相談援助	3前	2							1
	子育て支援	3後	1				1				
	保育相談支援	3後	1				1				
	特別の支援を要する子どもの理解と支援	3後	2				1				
	障害児保育	3後	2				1				
	家庭支援論	4前	2							1	
	発達心理学	3後	2					1			
	保育内容(表現Ⅲ)	3前	2					2			
	キリスト教保育	2後	2					1		2	
子どもと遊び	2後	2						1			
保育ボランティア	3前	2							1		
児童文化	3後	2					2				
地域子育て支援セミナー	3後	2				1	1				
教科教育	国語(書写を含む)	2前	2			1					
	国語Ⅰ(書写を含む)(未開講)	2前	2				1				
	国語Ⅱ	2後	2				1				
	社会	2後	2				1				
	社会Ⅰ	2後	2				1				
	社会Ⅱ(未開講)	3前	2				1				
	算数	3前	2							1	
	算数Ⅰ	3前	2							1	
	算数Ⅱ	3後	2							1	
	理科	2前	2				1			1	
	生活	2後	2				1				
	家庭	2後	2					1		3	
音楽	1前	2				1					
音楽Ⅰ(未開講)	1前	2				1					
子どもの生活と遊びⅠ	2後	2				1					
音楽Ⅱ	1後	2				1					
図画工作	1前	2				1					
図画工作Ⅰ	1後	2				1					
子どもの生活と遊びⅡ	2前	2				1					
図画工作Ⅱ	2前	2				1					
体育	2前	2						1			
体育Ⅰ(未開講)	2前	2						1			
子どもの生活と遊びⅢ	2後	2						1			
体育Ⅱ	2後	2						1			
初等英語	4前	2							1		
教育・保育実習	初等教育実習Ⅰ	2通	2			2	1				
	初等教育実習Ⅱ	4通	2			2	1				
	初等教育実習Ⅲ	4通	2			2					
	初等教育実習Ⅳ(事前・事後指導)	2通	1			2	1				
	介護等体験Ⅰ	3通	1			1	1				
	介護等体験Ⅱ(事前・事後指導)	3通	1			1	1				
	保育実習Ⅰ	3通	4			1	1				
	保育実習Ⅱ	4前	2			1	1				
	保育実習Ⅲ(未開講)	4前	2				1				
	保育実習指導Ⅰ	3通	2			1	1				
保育実習指導Ⅱ	4前	1			1	1					
保育実習指導Ⅲ(未開講)	4前	1				1					
セミナー	児童教育セミナーⅠ	3前	1			5	3	1			
	児童教育セミナーⅡ	3後	1			5	3	1			
	児童教育セミナーⅢ	4前	1			6	3	1			
	児童教育セミナーⅣ	4後	1			6	3	1			
	卒業論文	4後	4			6	3	1			
小計(129科目)	-	19	222	0	8	3	1	0	0	31	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
関連科目 I	英語教育	英文法 I	1前	1							1	
		英文法 II	1後	1							1	
		英語科教育入門	1後	2							1	
		教室英語	2後	2							1	
		英語科教育法 I	2前	2							1	
		英語科教育法 II	2後	2							1	
		海外研修 I	2前	4							1	
		海外研修 II	2後	4							1	
	司書・司書教諭	学校経営と学校図書館	2前	2							1	
		学校図書館メディアの構成	2前	2							1	
学習指導と学校図書館		2後	2							1		
読書と豊かな人間性		2後	2							1		
	情報メディアの活用	2前	2							1		
	小計(13科目)	-	0	28	0	0	0	0	0	0	5	
関連科目 II	司書・司書教諭	生涯学習論 I	2前		2						1	
		図書館概論	1後		2						1	
		図書館情報技術論	2後		2						1	
		図書館制度・経営論	3前		2						1	
		図書館サービス概論	2前		2						1	
		情報サービス論	3前		2						1	
		児童サービス論	2前		2						1	
		情報サービス演習 I	3前		1						1	
		情報サービス演習 II	3後		1						1	
		図書館情報資源概論	2後		2						1	
		情報資源組織論	2前		2						1	
		情報資源組織演習 I	2前		1						1	
		情報資源組織演習 II	2後		1						1	
		図書・図書館史	3後		1						1	
図書館基礎特論	3前		1						1			
図書館情報資源特論	3前		1						1			
図書館サービス特論	3後		1						1			
	小計(17科目)	-	0	0	26	0	0	0	0	0	5	
合計(195科目)			-	39	282	26	6	6	0	0	0	72
卒業要件及び履修方法												
<p>基礎科目16単位を必修科目、ライフキャリア科目4単位を必修、12単位を選択必修として計32単位を履修する。</p> <p>専門科目については、学科基礎科目7単位を必修、学科基幹科目のうち4単位を必修、4単位を選択必修、児童教育セミナー I～IV4単位及び卒業論文4単位を必修として履修する。また、児童教育コース履修者は学科展開科目 I (児童教育分野)から26単位を選択必修、学科発展科目 I (児童教育分野)から12単位(ただし、このうち6単位は幼児教育分野から履修可)を選択必修として計38単位を履修し、幼児教育コース履修者は学科展開科目 II (幼児教育分野)から20単位を選択必修、学科発展科目 II (幼児教育分野)から18単位(ただし、このうち8単位は児童教育分野から履修可)を選択必修として計38単位を履修する。さらに、専門科目及び関連科目 I より計31単位以上を履修し、総計124単位以上を修得すること。</p> <p>卒業要件として修得すべき単位数については、一年間に履修科目として登録することができる単位数の上限を原則として50単位未満とする。ただし、直前学期の成績平均点数(GPA)が2.3未満の者については、当該学期の履修登録上限単位数を22単位とする。直前の学年に履修した科目の成績平均点数(GPA)が2.3以上の者については一年間に54単位まで履修科目として登録できることとする。</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
関連科目 I	英語教育	英文法 I	1前	1							1	
		英文法 II	1後	1							1	
		英語科教育入門	1後	2							1	
		教室英語	2後	2							1	
		英語科教育法 I	2前	2							1	
		英語科教育法 II	2後	2							1	
		海外研修 I	2前	4							1	
		海外研修 II	2前	4							1	
	司書・司書教諭	学校経営と学校図書館	2前	2							1	
		学校図書館メディアの構成	2前	2							1	
学習指導と学校図書館		2後	2							1		
読書と豊かな人間性		2後	2							1		
	情報メディアの活用	2前	2							1		
	小計(13科目)	-	0	28	0	0	0	0	0	0	5	
関連科目 II	司書・司書教諭	生涯学習論 I	2前		2						1	
		図書館概論	1後		2						1	
		図書館情報技術論	2後		2						1	
		図書館制度・経営論	3前		2						1	
		図書館サービス概論	2前		2						1	
		情報サービス論	3前		2						1	
		児童サービス論	2前		2						1	
		情報サービス演習 I	3前		1						1	
		情報サービス演習 II	3後		1						1	
		図書館情報資源概論	2後		2						1	
		情報資源組織論	2前		2						1	
		情報資源組織演習 I	2前		1						1	
		情報資源組織演習 II	2後		1						1	
		図書・図書館史	3後		1						1	
図書館基礎特論	3前		1						1			
図書館情報資源特論	3前		1						1			
図書館サービス特論	3後		1						1			
	小計(17科目)	-	0	0	26	0	0	0	0	0	5	
合計(218科目)			-	39	323	26	8	4	1	0	0	69
卒業要件及び履修方法												
<p>基礎科目16単位を必修科目、ライフキャリア科目4単位を必修、12単位を選択必修として計32単位を履修する。</p> <p>専門科目については、学科基礎科目7単位を必修、学科基幹科目のうち4単位を必修、4単位を選択必修、児童教育セミナー I～IV4単位及び卒業論文4単位を必修として履修する。また、児童教育コース履修者は学科展開科目 I (児童教育分野)から26単位を選択必修、学科発展科目 I (児童教育分野)から12単位(ただし、このうち6単位は幼児教育分野から履修可)を選択必修として計38単位を履修し、幼児教育コース履修者は学科展開科目 II (幼児教育分野)から24単位を選択必修、学科発展科目 II (幼児教育分野)から14単位(ただし、このうち8単位は児童教育分野から履修可)を選択必修として計38単位を履修する。さらに、専門科目及び関連科目 I より計31単位以上を履修し、総計124単位以上を修得すること。</p> <p>卒業要件として修得すべき単位数については、一年間に履修科目として登録することができる単位数の上限を原則として50単位未満とする。ただし、直前学期の成績平均点数(GPA)が2.3未満の者については、当該学期の履修登録上限単位数を22単位とする。直前の学年に履修した科目の成績平均点数(GPA)が2.3以上の者については一年間に54単位まで履修科目として登録できることとする。</p>												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	キリスト教学入門Ⅰ	1前	2								1
	キリスト教学入門Ⅱ	1後	2								1
	初年次セミナー	1前	2			7	5				
	日本語表現技法	1前	2			1					1
	情報リテラシーⅠ	1前	2								2
	情報リテラシーⅡ	1後	2								2
	基礎英語Ⅰ	1前	1								3
	基礎英語Ⅱ	1後	1								3
	基礎英語Ⅲ	2前	1								3
	基礎英語Ⅳ	2後	1								3
	基礎日本語Ⅰ(未開講)	1前		1							1
	基礎日本語Ⅱ(未開講)	1後		1							1
	基礎日本語Ⅲ	2前		1							1
	基礎日本語Ⅳ	2後		1							1
小計(14科目)	-	-	16	4	0	7	5	0	0	0	9
必修	キャリアプランニング	1前	2			6	4				2
	女性とライフキャリア	2前	2			1					4
自己との関係科目群	女性史	1前	2								3
	女性とライフスタイル	1後	2				1				6
	Women in Christianity	1後	2								1
	女性文学の世界Ⅰ(近現代編)	2前	2								1
	キリスト教と女性	2後	2								1
	Women & the WorldⅠ	2後	2								1
他者との関係科目群	対人関係の心理	1前	2			1					2
	キリスト教と教育	1前	2								1
	Intercultural CommunicationⅠ	1後	2								1
	暮らしを営む食と健康	2前	2								4
	子育てとライフキャリア	2後	2			1					
社会との関係科目群	World LiteratureⅠ	1前	2								1
	キリスト教と社会	1後	2								1
	ビジネス実務総論Ⅰ	1後	2								1
	ビジネス実務総論Ⅱ	2前	2								1
	ヒロシマと平和	2前	2								1
	ボランティア活動	2前	2			1					3
	インターンシップ	2前	2								2
	Human Rights in the World	2後	2								1
Culture StudiesⅠ	2後	2								1	
ライフキャリア科目	ライフキャリア特別講義Ⅰ	1前	2								1
	ライフキャリア特別講義Ⅱ(未開講)	1後	2								1
	ライフキャリア特別セミナーⅠ(未開講)	1前	2			1					
	ライフキャリア特別セミナーⅡ	1後	2								1
	オープンセミナーⅠ	1前	1			6	4				
	オープンセミナーⅡ(未開講)	1前	2			6	4				
	スポーツ科学Ⅰ	1前	1				1				
	スポーツ科学Ⅱ	1後	1								1
	日本国憲法	1後	2								1
	外国語(英語Ⅰ)	1前	1								1
	外国語(英語Ⅱ)	1後	1								1
	外国語(英語Ⅲ)	2前	1								2
	外国語(英語Ⅳ)	2後	1								2
	外国語(フランス語Ⅰ)	1前	1								1
	外国語(フランス語Ⅱ)	1後	1								1
	外国語(韓国語Ⅰ)	1前	1								1
	外国語(韓国語Ⅱ)	1後	1								1
	外国語(中国語Ⅰ)	1前	1								1
	外国語(中国語Ⅱ)	1後	1								1
	外国語(日本語Ⅰ)	1前	1								1
外国語(日本語Ⅱ)	1後	1								1	
外国語(日本語Ⅲ)	2前	1								1	
外国語(日本語Ⅳ)	2後	1								1	
小計(45科目)	-	-	4	69	0	7	6	0	0	0	33

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	キリスト教学入門Ⅰ	1前	2								1
	キリスト教学入門Ⅱ	1後	2								1
	初年次セミナー	1前	2					6	4	1	
	日本語表現技法	1前	2								2
	情報リテラシーⅠ	1前	2								3
	情報リテラシーⅡ	1後	2								3
	基礎英語Ⅰ	1前	1								2
	基礎英語Ⅱ	1後	1								2
	基礎英語Ⅲ	2前	1								3
	基礎英語Ⅳ	2後	1								3
	基礎日本語Ⅰ(未開講)	1前		1							1
	基礎日本語Ⅱ(未開講)	1後		1							1
	基礎日本語Ⅲ(未開講)	2前		1							1
	基礎日本語Ⅳ(未開講)	2後		1							1
小計(14科目)	-	-	16	4	0	6	4	1	0	0	11
必修	キャリアプランニング	1前	2			6	4				
	女性とライフキャリア	2前	2			1					6
自己との関係科目群	女性史	1前	2								3
	女性とライフスタイル	1後	2				1				6
	Women in Christianity	1後	2								1
	女性文学の世界Ⅰ(近現代編)	2前	2								1
	キリスト教と女性	2後	2								1
	Women & the WorldⅠ	2後	2								1
他者との関係科目群	対人関係の心理	1前	2					1			2
	キリスト教と教育	1前	2								1
	Intercultural CommunicationⅠ	1後	2								1
	暮らしを営む食と健康	2前	2								4
	子育てとライフキャリア	2後	2					1			
社会との関係科目群	World LiteratureⅠ	1前	2								1
	キリスト教と社会	1後	2								1
	ビジネス実務総論Ⅰ	1後	2								1
	ビジネス実務総論Ⅱ	2前	2								1
	ヒロシマと平和	2前	2								1
	ボランティア活動	2前	2					1			3
	インターンシップ	2前	2					1			1
	Human Rights in the World	2後	2								1
Culture StudiesⅠ	2後	2								1	
ライフキャリア科目	ライフキャリア特別講義Ⅰ(未開講)	1前	2								1
	ライフキャリア特別講義Ⅱ(未開講)	1後	2								1
	ライフキャリア特別セミナーⅠ(未開講)	1前	2					1			
	ライフキャリア特別セミナーⅡ(未開講)	1後	2					1			
	オープンセミナーⅠ	1前	1					6	4		
	オープンセミナーⅡ(未開講)	1前	2					6	4		
	スポーツ科学Ⅰ	1前	1							1	
	スポーツ科学Ⅱ	1後	1							1	
	日本国憲法	1後	2								1
	外国語(英語Ⅰ)	1前	1								1
	外国語(英語Ⅱ)	1後	1								1
	外国語(英語Ⅲ)	2前	1								2
	外国語(英語Ⅳ)	2後	1								2
	外国語(フランス語Ⅰ)	1前	1								1
	外国語(フランス語Ⅱ)	1後	1								1
	外国語(韓国語Ⅰ)	1前	1								1
	外国語(韓国語Ⅱ)	1後	1								1
	外国語(中国語Ⅰ)	1前	1								1
	外国語(中国語Ⅱ)	1後	1								1
	外国語(日本語Ⅰ)	1前	1								1
外国語(日本語Ⅱ)	1後	1								1	
外国語(日本語Ⅲ)	2前	1								1	
外国語(日本語Ⅳ)	2後	1								1	
小計(45科目)	-	-	4	69	0	6	4	1	0	0	32

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学科発展科目Ⅱ（幼児教育分野）	子どもの保健Ⅲ	3前	1							1	
		子どもの食と栄養	2後	2							1	
		乳児保育	3前	2			1					
		社会的養護	2前	2							1	
		社会的養護内容	2後	1							1	
		幼児教育相談	2後	2			1					
		相談援助	3前	2							1	
		保育相談支援	3後	1			1					
		障害児保育	3後	2			1					
		家庭支援論	4前	2							1	
		発達心理学	3後	2				1				
		保育の心理学Ⅱ	3前	2				1				
		保育内容(表現Ⅲ)	3前	2			1	1				
		キリスト教保育	2後	2				1			2	
		子どもと遊び	2後	2				1				
	保育ボランティア	3前	2							1		
	児童文化	3後	2			1	1					
	地域子育て支援セミナー	3後	2			1	1					
	専門科目	教科教育	国語Ⅰ(書写を含む)	2前	2		1					
			国語Ⅱ	2後	2		1					
			社会Ⅰ	2後	2		1					
社会Ⅱ			3前	2		1						
算数Ⅰ			3前	2		1						
算数Ⅱ			3後	2		1						
理科			2前	2		1					1	
生活			2後	2			1					
家庭			2後	2			1				3	
音楽Ⅰ			1前	2			1					
音楽Ⅱ			1後	2			1					
図画工作Ⅰ			1後	2		1						
図画工作Ⅱ			2前	2		1						
体育Ⅰ			2前	2							1	
体育Ⅱ			2後	2							1	
初等英語	4前	2							1			
専門科目	教育・保育実習	初等教育実習Ⅰ	2通	2		2	1					
		初等教育実習Ⅱ	4通	2		2	1					
		初等教育実習Ⅲ	4通	2		2						
		初等教育実習Ⅳ(事前・事後指導)	2通	1		2	1					
		介護等体験Ⅰ	3通	1		2	1					
		介護等体験Ⅱ(事前・事後指導)	3通	1		2	1					
		保育実習Ⅰ	3通	4		1	1					
		保育実習Ⅱ	4前	2		1	1					
		保育実習Ⅲ	4前	2			1					
		保育実習指導Ⅰ	3通	2		1	1					
		保育実習指導Ⅱ	4前	1		1	1					
保育実習指導Ⅲ	4前	1			1							
専門科目	セミナー	児童教育セミナーⅠ	3前	1		5	4					
		児童教育セミナーⅡ	3後	1		5	4					
		児童教育セミナーⅢ	4前	1		5	4					
		児童教育セミナーⅣ	4後	1		5	4					
		卒業論文	4後	4		5	4					
小計(109科目)		-	19	187	0	8	6	0	0	0	30	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	学科発展科目Ⅱ（幼児教育分野）	子どもの保健Ⅲ	3前	1							1
		子どもの食と栄養	2後	2							1
		乳児保育	3前	2			1				
		乳児保育Ⅰ	2後	2			1				
		乳児保育Ⅱ	3前	1			1				
		子どもの健康と安全	3前	1							1
		社会的養護Ⅰ	2前	2							1
		社会的養護Ⅱ	2後	1							1
		社会的養護	2前	2							1
		社会的養護内容	2後	1							1
		幼児教育相談	2後	2				1			
		子ども家庭支援論	3前	2							1
		相談援助	3前	2							1
		子育て支援	3後	1				1			
		保育相談支援	3後	1			1				
	特別の支援を要する子どもの理解と支援	3後	2							1	
	障害児保育	3後	2			1					
	家庭支援論	4前	2							1	
	発達心理学	3後	2				1				
	保育の心理学Ⅱ	3前	2				1				
	保育内容(表現Ⅲ)	3前	2			1	1				
キリスト教保育	2後	2				1			2		
子どもと遊び	2後	2						1			
保育ボランティア	3前	2							1		
児童文化	3後	2			1	1					
地域子育て支援セミナー	3後	2			1	1					
専門科目	教科教育	国語(書写を含む)	2前	2		1					
		国語Ⅰ(書写を含む)	2前	2		1					
		国語Ⅱ(未開講)	2後	2		1					
		社会	2後	2		1					
		社会Ⅰ	2後	2		1					
		社会Ⅱ	3前	2		1					
		算数	3前	2							1
		算数Ⅰ	3前	2							1
		算数Ⅱ	3後	2							1
		理科	2前	2		1					1
		生活	2後	2		1					
		家庭	2後	2			1				3
		音楽	1前	2			1				
		音楽Ⅰ(未開講)	1前	2			1				
		子どもの生活と遊びⅠ	2後	2			1				
音楽Ⅱ(未開講)	1後	2			1						
図画工作	1前	2		1							
図画工作Ⅰ(未開講)	1後	2		1							
子どもの生活と遊びⅡ	2前	2		1							
図画工作Ⅱ	2前	2		1							
体育	2前	2						1			
体育Ⅰ	2前	2						1			
子どもの生活と遊びⅢ	2後	2						1			
体育Ⅱ	2後	2						1			
初等英語	4前	2							1		
専門科目	教育・保育実習	初等教育実習Ⅰ	2通	2		2	1				
		初等教育実習Ⅱ	4通	2		2	1				
		初等教育実習Ⅲ	4通	2		2					
		初等教育実習Ⅳ(事前・事後指導)	2通	1		2	1				
		介護等体験Ⅰ	3通	1		2	1				
		介護等体験Ⅱ(事前・事後指導)	3通	1		2	1				
		保育実習Ⅰ	3通	4		1	1				
		保育実習Ⅱ	4前	2		1	1				
		保育実習Ⅲ	4前	2			1				
		保育実習指導Ⅰ	3通	2		1	1				
		保育実習指導Ⅱ	4前	1		1	1				
保育実習指導Ⅲ	4前	1			1						
専門科目	セミナー	児童教育セミナーⅠ	3前	1		5	4				
		児童教育セミナーⅡ	3後	1		5	4				
		児童教育セミナーⅢ	4前	1		5	4				
		児童教育セミナーⅣ	4後	1		5	4				
		卒業論文	4後	4		5	4				
小計(134科目)		-	21	230	0	7	5	1	0	0	30

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
関連科目 I	英語教育	英文法 I	1前	1							1	
		英文法 II	1後	1							1	
		英語科教育入門	1後	2							1	
		教室英語	2後	2							1	
		英語科教育法 I	2前	2							1	
		英語科教育法 II	2後	2							1	
		海外研修 I	2前	4							1	
		海外研修 II	2前	4							1	
	司書・司書教諭	学校経営と学校図書館	2前	2							1	
		学校図書館メディアの構成	2前	2							1	
学習指導と学校図書館		2後	2							1		
読書と豊かな人間性		2後	2							1		
情報メディアの活用		2前	2							1		
	小計(13科目)	-	0	28	0	0	0	0	0	0	5	
関連科目 II	司書・司書教諭	生涯学習論 I	2前		2						1	
		図書館概論	1後		2						1	
		図書館情報技術論	2後		2						1	
		図書館制度・経営論	3前		2						1	
		図書館サービス概論	2前		2						1	
		情報サービス論	3前		2						1	
		児童サービス論	2前		2						1	
		情報サービス演習 I	3前		1						1	
		情報サービス演習 II	3後		1						1	
		図書館情報資源概論	2後		2						1	
		情報資源組織論	2前		2						1	
		情報資源組織演習 I	2前		1						1	
		情報資源組織演習 II	2後		1						1	
		図書・図書館史	3後		1						1	
		図書館基礎特論	3前		1						1	
図書館情報資源特論	3前		1						1			
図書館サービス特論	3後		1						1			
	小計(17科目)	-	0	0	26	0	0	0	0	0	5	
合計(198科目)			-	39	288	26	8	6	0	0	0	71
卒業要件及び履修方法												
<p>基礎科目16単位を必修科目、ライフキャリア科目4単位を必修、12単位を選択必修として計32単位を履修する。</p> <p>専門科目については、学科基礎科目7単位を必修、学科基幹科目のうち4単位を必修、4単位を選択必修、児童教育セミナー I～IV4単位及び卒業論文4単位を必修として履修する。また、児童教育コース履修者は学科展開科目 I (児童教育分野)から26単位を選択必修、学科発展科目 I (児童教育分野)から12単位(ただし、このうち6単位は幼児教育分野から履修可)を選択必修として計38単位を履修し、幼児教育コース履修者は学科展開科目 II (幼児教育分野)から20単位を選択必修、学科発展科目 II (幼児教育分野)から18単位(ただし、このうち8単位は児童教育分野から履修可)を選択必修として計38単位を履修する。さらに、専門科目及び関連科目 I より計31単位以上を履修し、総計124単位以上を修得すること。</p> <p>卒業要件として修得すべき単位数については、一年間に履修科目として登録することができる単位数の上限を原則として50単位未満とする。ただし、直前学期の成績平均点数(GPA)が2.3未満の者については、当該学期の履修登録上限単位数を22単位とする。直前の学年に履修した科目の成績平均点数(GPA)が2.3以上の者については一年間に54単位まで履修科目として登録できることとする。</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
関連科目 I	英語教育	英文法 I	1前	1							1	
		英文法 II	1後	1							1	
		英語科教育入門	1後	2							1	
		教室英語	2後	2							1	
		英語科教育法 I	2前	2							1	
		英語科教育法 II	2後	2							1	
		海外研修 I	2前	4							1	
		海外研修 II	2前	4							1	
	司書・司書教諭	学校経営と学校図書館	2前	2							1	
		学校図書館メディアの構成	2前	2							1	
学習指導と学校図書館		2後	2							1		
読書と豊かな人間性		2後	2							1		
情報メディアの活用		2前	2							1		
	小計(13科目)	-	0	28	0	0	0	0	0	0	5	
関連科目 II	司書・司書教諭	生涯学習論 I	2前		2						1	
		図書館概論	1後		2						1	
		図書館情報技術論	2後		2						1	
		図書館制度・経営論	3前		2						1	
		図書館サービス概論	2前		2						1	
		情報サービス論	3前		2						1	
		児童サービス論	2前		2						1	
		情報サービス演習 I	3前		1						1	
		情報サービス演習 II	3後		1						1	
		図書館情報資源概論	2後		2						1	
		情報資源組織論	2前		2						1	
		情報資源組織演習 I	2前		1						1	
		情報資源組織演習 II	2後		1						1	
		図書・図書館史	3後		1						1	
		図書館基礎特論	3前		1						1	
図書館情報資源特論	3前		1						1			
図書館サービス特論	3後		1						1			
	小計(17科目)	-	0	0	26	0	0	0	0	0	5	
合計(223科目)			-	41	331	26	7	5	1	0	0	69
卒業要件及び履修方法												
<p>基礎科目16単位を必修科目、ライフキャリア科目4単位を必修、12単位を選択必修として計32単位を履修する。</p> <p>専門科目については、学科基礎科目7単位を必修、学科基幹科目のうち4単位を必修、4単位を選択必修、児童教育セミナー I～IV4単位及び卒業論文4単位を必修として履修する。また、児童教育コース履修者は学科展開科目 I (児童教育分野)から26単位を選択必修、学科発展科目 I (児童教育分野)から12単位(ただし、このうち6単位は幼児教育分野から履修可)を選択必修として計38単位を履修し、幼児教育コース履修者は学科展開科目 II (幼児教育分野)から24単位を選択必修、学科発展科目 II (幼児教育分野)から14単位(ただし、このうち8単位は児童教育分野から履修可)を選択必修として計38単位を履修する。さらに、専門科目及び関連科目 I より計31単位以上を履修し、総計124単位以上を修得すること。</p> <p>卒業要件として修得すべき単位数については、一年間に履修科目として登録することができる単位数の上限を原則として50単位未満とする。ただし、直前学期の成績平均点数(GPA)が2.3未満の者については、当該学期の履修登録上限単位数を22単位とする。直前の学年に履修した科目の成績平均点数(GPA)が2.3以上の者については一年間に54単位まで履修科目として登録できることとする。</p>												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	キリスト教学入門Ⅰ	1前	2									1	
	キリスト教学入門Ⅱ	1後	2									1	
	初年次セミナー	1前	2			7	3						
	日本語表現技法	1前	2									3	
	情報リテラシーⅠ	1前	2									4	
	情報リテラシーⅡ	1後	2									3	
	基礎英語Ⅰ	1前	1									2	
	基礎英語Ⅱ	1後	1									2	
	基礎英語Ⅲ	2前	1									2	
	基礎英語Ⅳ	2後	1									2	
	基礎日本語Ⅰ	1前		1								1	
	基礎日本語Ⅱ	1後		1								1	
	基礎日本語Ⅲ <small>(未開講)</small>	2前		1								1	
	基礎日本語Ⅳ <small>(未開講)</small>	2後		1								1	
小計(14科目)	-		16	4	0	7	3	0	0	0		12	
ライフキャリア科目	必修	キャリアプランニング	1前	2			7	3	1				
		女性とライフキャリア	2前	2			1						6
	自己との関係科目群	女性史	1前	2									2
		女性とライフスタイル	1後	2				1					6
		Women in Christianity	1後	2									1
		女性文学の世界Ⅰ(近現代編)	2前	2									1
		キリスト教と女性	2後	2									1
		Women & the WorldⅠ	2後	2									1
	他者との関係科目群	対人関係の心理	1前	2			1						2
		キリスト教と教育	1前	2									1
		Intercultural CommunicationⅠ	1後	2									1
		暮らしを営む食と健康	2前	2									4
		子育てとライフキャリア	2後	2			1						
	社会との関係科目群	World LiteratureⅠ	1前	2									1
		キリスト教と社会	1後	2									1
		ビジネス実務総論Ⅰ	1後	2									1
		ビジネス実務総論Ⅱ	2前	2									1
		ヒロシマと平和	2前	2									1
		ボランティア活動	2前	2			1						3
		インターンシップ	2前	2			1						1
		Human Rights in the World	2後	2									1
		Culture StudiesⅠ	2後	2									1
	その他科目群	ライフキャリア特別講義Ⅰ	1前	2									1
		ライフキャリア特別講義Ⅱ	1後	2									1
		ライフキャリア特別セミナーⅠ	1前	2			1						
		ライフキャリア特別セミナーⅡ	1後	2			1						
		オープンセミナーⅠ	1前	1			7	3					
		オープンセミナーⅡ	1前	2			7	3					
		スポーツ科学Ⅰ	1前	1						1			
		スポーツ科学Ⅱ	1後	1						1			
		日本国憲法	1後	2									1
		外国語(英語Ⅰ)	1前	1									2
		外国語(英語Ⅱ)	1後	1									1
	外国語(英語Ⅲ)	2前	1									1	
	外国語(英語Ⅳ)	2後	1									1	
	外国語(フランス語Ⅰ)	1前	1									1	
	外国語(フランス語Ⅱ)	1後	1									1	
	外国語(韓国語Ⅰ)	1前	1									1	
	外国語(韓国語Ⅱ)	1後	1									1	
	外国語(中国語Ⅰ)	1前	1									1	
	外国語(中国語Ⅱ)	1後	1									1	
	外国語(日本語Ⅰ)	1前	1									1	
	外国語(日本語Ⅱ)	1後	1									1	
	外国語(日本語Ⅲ) <small>(未開講)</small>	2前	1									1	
	外国語(日本語Ⅳ)	2後	1									1	
小計(45科目)	-		4	69	0	8	4	1	0	0		30	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学科発展科目Ⅱ（幼児教育分野）	子どもの保健Ⅲ	3前	1								1
		子どもの食と栄養	2後	2								1
		乳児保育	3前	2				1				
		乳児保育Ⅰ	2後	2				1				
		乳児保育Ⅱ	3前	1				1				
		子どもの健康と安全	3前	1								1
		社会的養護Ⅰ	2前	2								1
		社会的養護Ⅱ	2後	1								1
		社会的養護	2前	2								1
		社会的養護内容	2後	1								1
		幼児教育相談	2後	2				1				
		子ども家庭支援論	3前	2								1
		相談援助	3前	2								1
		子育て支援	3後	1			1					
		保育相談支援	3後	1			1					
		特別の支援を要する子どもの理解と支援	3後	2			1					
		障害児保育	3後	2			1					
		家庭支援論	4前	2								1
		発達心理学	3後	2				1				
		保育の心理学Ⅱ	3前	2				1				
		保育内容(表現Ⅲ)	3前	2			2					
	キリスト教保育	2後	2				1				2	
	子どもと遊び	2後	2					1				
	保育ボランティア	3前	2								1	
	児童文化	3後	2			1	1					
	地域子育て支援セミナー	3後	2			1	1					
	教科教育	国語(書写を含む)	2前	2			1					
		国語Ⅰ(書写を含む)	2前	2			1					
		国語Ⅱ(未開講)	2後	2			1					
		社会	2後	2			1					
		社会Ⅰ	2後	2			1					
		社会Ⅱ(未開講)	3前	2			1					
		算数	3前	2								1
		算数Ⅰ	3前	2								1
		算数Ⅱ(未開講)	3後	2								1
		理科	2前	2			1					1
		生活	2後	2			1					
		家庭	2後	2				1				3
		音楽	1前	2			1					
		音楽Ⅰ(未開講)	1前	2			1					
		子どもの生活と遊びⅠ	2後	2			1					
音楽Ⅱ		1後	2			1						
図画工作		1前	2			1						
図画工作Ⅰ		1後	2			1						
子どもの生活と遊びⅡ		2前	2			1						
図画工作Ⅱ(未開講)		2前	2			1						
体育	2前	2					1					
体育Ⅰ(未開講)	2前	2					1					
子どもの生活と遊びⅢ	2後	2					1					
体育Ⅱ	2後	2					1					
初等英語	4前	2								1		
教育・保育実習	初等教育実習Ⅰ	2通	2			2	1					
	初等教育実習Ⅱ	4通	2			2	1					
	初等教育実習Ⅲ	4通	2			2	1					
	初等教育実習Ⅳ(事前・事後指導)	2通	1			2	1					
	介護等体験Ⅰ	3通	1			2	1					
	介護等体験Ⅱ(事前・事後指導)	3通	1			2	1					
	保育実習Ⅰ	3通	4			1	1					
	保育実習Ⅱ	4前	2			1	1					
	保育実習Ⅲ	4前	2			1	1					
	保育実習指導Ⅰ	3通	2			1	1					
	保育実習指導Ⅱ	4前	1			1	1					
	保育実習指導Ⅲ	4前	1			1	1					
セミナー	児童教育セミナーⅠ	3前	1			6	3	1				
	児童教育セミナーⅡ	3後	1			6	3	1				
	児童教育セミナーⅢ	4前	1			5	4					
	児童教育セミナーⅣ	4後	1			5	4					
	卒業論文	4後	4			5	4					
	小計(134科目)	-	21	230	0	8	4	1	0	0	29	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
関連科目 I	英語教育	英文法 I	1前	1								1
		英文法 II	1後	1								1
		英語科教育入門	1後	2								1
		教室英語	2後	2								1
		英語科教育法 I	2前	2								1
		英語科教育法 II	2後	2								1
		海外研修 I (未開講)	2前	4								1
		海外研修 II	2前	4								1
	司書・司書教諭	学校経営と学校図書館	2前	2								1
		学校図書館メディアの構成	2前	2								1
		学習指導と学校図書館	2後	2								1
		読書と豊かな人間性	2後	2								1
		情報メディアの活用	2前	2								1
	小計(13科目)	-	0	28	0	0	0	0	0	0	5	
関連科目 II	司書・司書教諭	生涯学習論 I	2前		2							1
		図書館概論	1後		2							1
		図書館情報技術論	2後		2							1
		図書館制度・経営論	3前		2							1
		図書館サービス概論	2前		2							1
		情報サービス論	3前		2							1
		児童サービス論	2前		2							1
		情報サービス演習 I	3前		1							1
		情報サービス演習 II	3後		1							1
		図書館情報資源概論	2後		2							1
		情報資源組織論	2前		2							1
		情報資源組織演習 I	2前		1							1
		情報資源組織演習 II	2後		1							1
		図書・図書館史	3後		1							1
		図書館基礎特論	3前		1							1
図書館情報資源特論	3前		1							1		
図書館サービス特論	3後		1							1		
	小計(17科目)	-	0	0	26	0	0	0	0	0	5	
合計(223科目)		-	41	331	26	8	4	1	0	0	69	
卒業要件及び履修方法												
<p>基礎科目16単位を必修科目、ライフキャリア科目4単位を必修、12単位を選択必修として計32単位を履修する。</p> <p>専門科目については、学科基礎科目7単位を必修、学科基幹科目のうち4単位を必修、4単位を選択必修、児童教育セミナー I～IV4単位及び卒業論文4単位を必修として履修する。また、児童教育コース履修者は学科展開科目 I (児童教育分野)から26単位を選択必修、学科発展科目 I (児童教育分野)から12単位(ただし、このうち6単位は幼児教育分野から履修可)を選択必修として計38単位を履修し、幼児教育コース履修者は学科展開科目 II (幼児教育分野)から24単位を選択必修、学科発展科目 II (幼児教育分野)から14単位(ただし、このうち8単位は児童教育分野から履修可)を選択必修として計38単位を履修する。さらに、専門科目及び関連科目 I より計31単位以上を履修し、総計124単位以上を修得すること。</p> <p>卒業要件として修得すべき単位数については、一年間に履修科目として登録することができる単位数の上限を原則として50単位未満とする。ただし、直前学期の成績平均点数(GPA)が2.3未満の者については、当該学期の履修登録上限単位数を22単位とする。直前の学年に履修した科目の成績平均点数(GPA)が2.3以上の者については一年間に54単位まで履修科目として登録できることとする。</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・平成30年4月「准教授」1名が「教授」昇任により、教員配置を変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「初年次セミナー」「オープンセミナーⅠ」「オープンセミナーⅡ」の担当教授を「5」から「6」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「キャリアプランニング」の教員配置を「教授6」「准教授4」「兼2」に変更。
- ・申請時記載違いにより、「女性とライフキャリア」の教員配置の「兼2」を「兼4」に修正。
- ・平成30年4月「兼任講師」が「専任（特任）准教授」就任により、教員配置を変更。
- ・分級減により、「外国語（英語Ⅰ）」「外国語（英語Ⅱ）」の担当を「兼5」から「兼1」に変更。
- ・分級減により、「外国語（英語Ⅲ）」「外国語（英語Ⅳ）」の担当を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・申請時記載違いにより、「ライフキャリア特別セミナーⅠ」「ライフキャリア特別セミナーⅡ」の教員配置を「兼1」から「教授1」に修正。ただし、「ライフキャリア特別セミナーⅡ」についてはテーマ設定に基づき担当変更したため「兼1」のまま。
- ・教育課程の充実を図るため、「児童教育基礎セミナーⅠ」の教員配置を増員、「児童教育基礎セミナーⅡ」の教員配置を変更。
- ・申請時記載違いにより、「特別活動論」の教員配置を「兼1」から「准教授1」に修正。
- ・申請時記載違いにより、「地域協働教育セミナー」の担当に「准教授1」を追加。
- ・申請時記載違いにより、「学習心理学」の教員配置を「兼1」から「教授1」に修正。
- ・「保育の心理学Ⅰ」の「准教授」が介護休暇のため、担当を「兼任講師」に変更。
- ・所属学科の都合により、授業科目の名称を「国語（書写を含む）」から「国語Ⅰ（書写を含む）」に変更し、「国語Ⅱ」を追加。
- ・所属学科の都合により、授業科目の名称を「社会」から「社会Ⅰ」に変更し、「社会Ⅱ」を追加。
- ・所属学科の都合により、授業科目の名称を「算数」から「算数Ⅰ」に変更し、「算数Ⅱ」を追加。
- ・申請時記載違いにより、「海外研修Ⅱ」の配当年次を「2後」から「2前」に修正。
- ・分級減により、「外国語（英語Ⅰ）」「外国語（英語Ⅱ）」の教員配置を「兼5」から「兼1」、同様に「外国語（英語Ⅲ）」「外国語（英語Ⅳ）」を「兼3」から「兼2」に変更。

【令和元年度】

- ・平成30年4月「准教授」1名が「教授」昇任により、教員配置を変更。
- ・平成31年3月「教授」1名と「准教授」1名の退職により、教員配置（兼任講師として継続）を変更。
- ・平成31年4月「専任講師」就任により、「初年次セミナー」「スポーツ科学Ⅰ」「スポーツ科学Ⅱ」「児童教育基礎セミナーⅠ」「児童教育基礎セミナーⅡ」「子どもと遊び」「体育Ⅰ」「体育Ⅱ」の10科目を担当するため、教員配置を変更。
- ・所属学科の都合により、「日本語表現技法」の教員配置を「教授1」「兼1」から「兼2」に変更。
- ・分級増により、「情報リテラシーⅠ」「情報リテラシーⅡ」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・分級減により、「基礎英語Ⅰ」「基礎英語Ⅱ」の教員配置を「兼3」から「兼2」に修正。
- ・申請時記載違いにより、「女性とライフキャリア」の教員配置の「兼2」を「兼6」に修正、更に教育課程の充実を図るため、「兼2」を追加し「兼6」とする。
- ・平成31年3月教授（兼担）の退職により、「インターンシップ」を専任教授に変更。
- ・申請時記載違いにより、「ライフキャリア特別セミナーⅠ」「ライフキャリア特別セミナーⅡ」の教員配置を「兼1」から「教授1」に修正。
- ・所属学科の都合により、「児童教育基礎セミナーⅡ」の担当のうち1名を「教授」から「准教授」に変更。
- ・分級減により、「外国語（英語Ⅰ）」「外国語（英語Ⅱ）」の担当を「兼5」から「兼1」に変更。
- ・分級減により、「外国語（英語Ⅲ）」「外国語（英語Ⅳ）」の担当を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・保育士課程及び教職課程の改正に伴い、必修1科目、選択27科目の計28科目を追加。
〔必修科目〕教育原理
〔選択科目〕子ども家庭福祉、特別活動及び総合的な学習の時間の指導法、カリキュラムと評価、子どもの理解と援助、保育の心理学、子ども家庭支援の心理学、子どもの保健、乳児保育Ⅰ、乳児保育Ⅱ、子どもの健康と安全、社会的養護Ⅰ、社会的養護Ⅱ、子ども家庭支援論、子育て支援、特別の支援を要する子どもの理解と支援、国語Ⅰ（書写を含む）、国語Ⅱ、社会Ⅰ、社会Ⅱ、算数Ⅰ、算数Ⅱ、音楽、図画工作、体育、子どもの生活と遊びⅠ、子どもの生活と遊びⅡ、子どもの生活と遊びⅢ
- ・申請時記載違いにより、「特別活動論」の教員配置を「兼1」から「准教授1」に修正。
- ・申請時記載違いにより、「地域協働教育セミナー」の担当に「准教授1」を追加。
- ・申請時記載違いにより、「学習心理学」の教員配置を「兼1」から「教授1」に修正。
- ・教育課程の充実を図るため、「子どもの保健Ⅱ」の教員配置を「兼4」から「兼1」に変更。
- ・申請時記載違いにより、「海外研修Ⅱ」の配当年次を「2後」から「2前」に修正。

【令和2年度】

- ・平成30年4月及び令和2年4月、「准教授」1名ずつが「教授」昇任により、教員配置を変更。
- ・平成31年3月「教授」1名の退職により、教員配置（兼任講師として継続）を変更。
- ・平成31年4月「専任講師」就任により、「キャリアプランニング」「スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ」「児童教育基礎セミナーⅠ・Ⅱ」「子どもと遊び」「体育Ⅰ・Ⅱ」の計10科目の教員配置を変更。
- ・所属学科の都合と分級増により、「日本語表現技法」の教員配置を「教授1」「兼1」から「兼3」に変更。
- ・分級増により、「情報リテラシーⅠ」の教員配置を「兼2」から「兼4」、「情報リテラシーⅡ」を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・分級減により、「基礎英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の教員配置を「兼3」から「兼2」に修正。
- ・申請時記載違いにより、「女性とライフキャリア」の教員配置を「兼2」から「兼6」に修正。
- ・令和2年3月専任講師（兼担）の転出（福岡大学）により、「女性史」の教員配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・平成31年3月教授（兼担）の退職により、「インターンシップ」を教授（専任）に変更。
- ・申請時記載違いにより、「ライフキャリア特別セミナーⅠ・Ⅱ」の教員配置を「兼1」から「教授1」に修正。
- ・分級減により「外国語（英語Ⅰ）」の教員配置を「兼5」から「兼2」、「外国語（英語Ⅱ）」を「兼5」から「兼1」、「外国語（英語Ⅲ・Ⅳ）」を「兼3」から「兼1」に修正。
- ・『保育士課程』及び『教職課程』の改正に伴い、必修1科目、選択27科目の計28科目を追加。
〔必修科目〕教育原理
〔選択科目〕子ども家庭福祉、特別活動及び総合的な学習の時間の指導法、カリキュラムと評価、子どもの理解と援助、保育の心理学、子ども家庭支援の心理学、子どもの保健、乳児保育Ⅰ、乳児保育Ⅱ、子どもの健康と安全、社会的養護Ⅰ、社会的養護Ⅱ、子ども家庭支援論、子育て支援、特別の支援を要する子どもの理解と支援、国語Ⅰ（書写を含む）、国語Ⅱ、社会Ⅰ、社会Ⅱ、算数Ⅰ、算数Ⅱ、音楽、図画工作、体育、子どもの生活と遊びⅠ、子どもの生活と遊びⅡ、子どもの生活と遊びⅢ
- ・申請時記載違いにより、「特別活動論」の教員配置を「兼1」から「准教授1」に修正。
- ・申請時記載違いにより、「地域協働教育セミナー」の担当に「准教授1」を追加。
- ・申請時記載違いにより、「学習心理学」の教員配置を「兼1」から「教授1」に修正。
- ・申請時記載違いにより、「海外研修Ⅱ」の配当年次を「2後」から「2前」に修正。

【令和3年度】

- ・平成30年4月及び令和2年4月、「准教授」1名ずつが「教授」昇任により、教員配置を変更。
- ・平成31年3月「教授」1名の退職により、教員配置（兼任講師として継続）を変更。
- ・平成31年4月「専任講師」就任により、「キャリアプランニング」「スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ」「児童教育基礎セミナーⅠ・Ⅱ」「子どもと遊び」「体育Ⅰ・Ⅱ」の計10科目の教員配置を変更。
- ・分級増により、「日本語表現技法」の教員配置を「教1・兼1」から「教1・兼2」に変更。
- ・分級増により、「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・分級減により、「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」の教員配置を「兼3」から「兼2」に修正。
- ・申請時記載違いにより、「女性とライフキャリア」の教員配置を「教1・兼2」から「教1・兼6」に修正。
- ・令和2年3月専任講師（兼担）の転出（福岡大学）により、「女性史」の教員配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・平成31年3月教授（兼担）の退職により、「インターンシップ」教員配置を「兼2」から「教1・兼1」に変更。
- ・申請時記載違いにより、「ライフキャリア特別セミナーⅠ・Ⅱ」の教員配置を「兼1」から「教1」に修正。
- ・分級減により「外国語（英語Ⅰ・Ⅱ）」の教員配置を「兼5」から「兼2」、「外国語（英語Ⅲ・Ⅳ）」を「兼3」から「兼1」に修正。
- ・『保育士課程』及び『教職課程』の改正に伴い、必修1科目、選択27科目の計28科目を追加。
 【必修科目】教育原理
 【選択科目】子ども家庭福祉、特別活動及び総合的な学習の時間の指導法、カリキュラムと評価、子どもの理解と援助、保育の心理学、子ども家庭支援の心理学、子どもの保健、乳児保育Ⅰ、乳児保育Ⅱ、子どもの健康と安全、社会的養護Ⅰ、社会的養護Ⅱ、子ども家庭支援論、子育て支援、特別の支援を要する子どもの理解と支援、国語Ⅰ（書写を含む）、国語Ⅱ、社会Ⅰ、社会Ⅱ、算数Ⅰ、算数Ⅱ、音楽、図画工作、体育、子どもの生活と遊びⅠ、子どもの生活と遊びⅡ、子どもの生活と遊びⅢ
- ・申請時記載違いにより、「特別活動論」の教員配置を「兼1」から「准1」に修正。
- ・申請時記載違いにより、「地域協働教育セミナー」の担当に「准1」を追加。
- ・申請時記載違いにより、「学習心理学」の教員配置を「兼1」から「教1」に修正。
- ・申請時記載違いにより、「海外研修Ⅱ」の配当年次を「2後」から「2前」に修正。
- ・担当教員の都合により、「子どもの保健Ⅰ」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。

(注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
24 科目	154 科目	17 科目	195 科目	24 科目 [0]	177 科目 [23]	17 科目 [0]	223 科目 [23]	『保育士課程』及び『教職課程』の改正による科目追加（28科目）、及び科目廃止（5科目）

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	オープンセミナーⅠ	1	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染症の影響、及び担当教員の休職ため未開講、 全て選択科目であることから代替措置は見 送る
2	オープンセミナーⅡ	2	1前	一般	選択	
3	授業づくりと評価	2	4前	専門	選択	
4	海外研修Ⅰ	4	2前	専門	選択	
5	海外研修Ⅱ	4	2前	専門	選択	

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	教育原理Ⅰ	2	1後	専門	必修	『教職課程』及び『保育士課程』の改定による廃止科目にて、全て代替科目有り
2	教育原理Ⅱ	2	2前	専門	選択	
3	子どもの保健Ⅱ	2	2後	専門	選択	
4	乳児保育	2	3前	専門	選択	
5	保育の心理学Ⅱ	2	3前	専門	選択	

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 未開講となった理由は、新型コロナウイルス感染症の影響、担当教員の休職、あるいは受講生が0人であったことによるものであり、未開講はやむを得ないと考えている。新型コロナウイルス感染症の影響としては、感染予防対策をとることが困難な授業内容や授業形態の科目（海外渡航を含む）について、未開講とした。次年度以降環境が整い次第開講の予定としている。 廃止科目については、法令改定によるもので、全ての科目において代替科目を追加している。</p> <p>「学生への周知方法」 学内ポータルによる連絡および、科目担当者から学生へ未開講・廃止科目の理由を周知させた。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{10}{195} = \boxed{5.12\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	学生の安全を考慮し、バス停及び待合スペースを確保するためのバス停エリア整備を実施 バス停用地として広島市へ203.00㎡を譲渡(3)			
	校舎敷地	17,731.97 m ² 18,414.37 m²	0 m ²	0 m ²	17,731.97 m ² 18,414.37 m²				
	運動場用地	23,191.93 m ²	0 m ²	0 m ²	23,191.93 m ²				
	小計	40,923.90 m ² 41,606.30 m²	0 m ²	0 m ²	40,923.90 m ² 41,606.30 m²				
	その他	161,345.43 m ² 160,866.03 m²	0 m ²	0 m ²	161,345.43 m ² 160,866.03 m²				
	合計	202,269.33 m ² 202,472.33 m²	0 m ²	0 m ²	202,269.33 m ² 202,472.33 m²				
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計					
	29,882.92 m ² (29,882.92 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	29,882.92 m ² (29,882.92 m ²)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	書道室追加カント(30) 大学全体			
	23室	21室	26 25室	7室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室数			平成30年4月特任准教授を新規採用(30) 平成31年3月特任契約満了による退職者2名、平成31年4月新規採用講師1名(元)			
	人間生活学部 児童教育学科		13 14 13 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	視聴覚資料の増減は数量更正のため(元) 蔵書数を定員の按分率で算出(30) 機械・器具 120(109)(108)(107) 大学共通	
	人間生活学部 児童教育学科	40,661 [5,017] (39,184 [4,994]) (39,104 [4,987]) (39,918 [4,967]) (39,115 [4,973]) (39,664 [4,980])	1,643 [196] (1,554 [182]) (1,572 [182]) (1,571 [182]) (1,573 [182]) (1,600 [192])	3 [0] (1 [1]) (0 [0])	174 (149) (148) (146) (171)	— (—)	— (—)		
	計	40,661 [5,017] (39,184 [4,994]) (39,104 [4,987]) (39,918 [4,967]) (39,115 [4,973]) (39,664 [4,980])	1,643 [196] (1,554 [182]) (1,572 [182]) (1,571 [182]) (1,573 [182]) (1,600 [192])	3 [0] (1 [1]) (0 [0])	174 (149) (148) (146) (171)	— (—)	— (—)		
(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数				大学全体		
	5,904.61 m ²	381	442,500						
(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体		
	908.22 m ²	テニスコート弓道場							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	経費の見積りについては、教員数・学生数による按分率の変更にPC等入替による設備購入費の増額(30)、学長裁量経費による研究費の増額(3)
		教員1人当たり研究費等	150千円	150千円	図書購入費	5,184千円	3,138千円 5,785千円	2,420千円 5,785千円	
	共同研究費等	2,221千円 2,127千円	2,982千円 2,127千円	設備購入費	5,397千円	24,678千円 6,818千円	3,520千円 6,818千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書購入費については、電子ジャーナル・データベース・その他経費(運用コスト)含む。	
		1,310千円	1,060千円	1,060千円	1,060千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、寄付金収入、利息収入、雑収入							届出学科全体

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広島女学院大学					学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文学部	4	105	-	420	-	0.98	0.73	-	平成30	-	
国際英語学科	4	65	-	260	学士(文学)	0.85	0.46	-	平成30	広島県広島市東区牛田東四丁目13番1号	
日本文化学科	4	40	-	160	学士(文学)	1.20	1.17	-	平成30	同上	
国際教養学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成24	-	
国際教養学科	4	-	-	-	学士(国際教養学)	-	-	-	平成24	広島県広島市東区牛田東四丁目13番1号	平成30年学生募集停止
人間生活学部	4	225	-	900	-	0.96	0.81	-	平成24	-	
生活デザイン学科	4	65	-	260	学士(家政学)	1.22	1.10	-	平成30	広島県広島市東区牛田東四丁目13番1号	
生活デザイン・建築学科	4	-	-	-	学士(家政学)	-	-	-	平成24	同上	平成30年学生募集停止
管理栄養学科	4	70	-	280	学士(家政学)	0.96	0.72	-	平成24	同上	
児童教育学科	4	90	-	360	学士(教育学)	0.78	0.67	-	平成30	同上	
幼児教育心理学科	4	-	-	-	学士(幼児教育心理学)	-	-	-	平成24	同上	平成30年学生募集停止
大学全体	4	330	-	1320	-	0.97	0.79	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、收容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間生活学部 児童教育学科>

- (1) -① 担当教員表
- (1) -② 担当教員表に関する変更内容

※個人情報を含む内容であることから掲載いたしておりません。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
7	5	0	0	12	0	8	4	1	0	13	0
(7)	(6)	(0)	(0)	(13)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
8	4	1	0	13	0	8	4	1	0	13	0
[1]	[Δ1]	[1]	[0]	[1]	[0]	[1]	[Δ1]	[1]	[0]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{12} = \boxed{108.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{13} = \boxed{7.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1			H31.3	選択	スポーツ科学 I	①	・ 「職位」 ・ 「専任教員氏名」 ・ 「就任辞退（未就任）の理由」 につきましては、個人情報を含む内容であることから掲載いたしておりません。			
				選択	初等体育科教育法	②				
				選択	子どもと遊び	①				
				選択	体育 I	①				
				選択	体育 II	①				
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	4	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	4	科目	計	1	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	4	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	4	科目	計	1	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{1}{12} = \boxed{8.33} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1			必修	児童教育基礎セミナー I	①	・「職位」 ・「専任教員氏名」 ・「就任辞退（未就任）の理由」 につきましては、個人情報を含む内容であることから掲載いたしておりません。			
			選択	教職論	①				
			選択	初等算数科教育法	②				
			選択	小学校算数科教材研究	②				
			選択	算数	②				
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	4 科目	選択	1 科目	選択	3 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	2 科目	計	3 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|--|
| ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|--|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

2名とも任用契約満了による退職のため、必修科目1科目と選択科目5科目は後任人事の専任教員（講師）及び専任教員（教授）に担当変更を行い、残りの選択科目4科目も引き続き当該教員がそれぞれ兼任担当するため、問題はないと考える。また、平成31年3月末の辞任であることから学生への特別な周知は行っていないが、4月からのオリエンテーションや授業等も支障なく行われている。（元）
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成29年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間生活学部 児童教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学内における教育・研究活動の改善を目指し、教員の教授能力開発等の促進を図るため、2003年度から「ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会」を設置している。教育と研究を基軸に教員の資質開発促進のため、FD・SD研修会の実施や学生による授業評価アンケートの実施と集計・評価等を行っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

毎年、年3回（5・10・3月）開催しており、委員会は委員長及び各学科・共通教育部門から選出された委員をもって構成されている。委員が諸事情で参加できない場合は、必ず代理教員を立て情報共有を行っており、職員からも教務課長と事務担当（秘書・広報課員）が陪席している。2018年度の開催状況は以下の通りである。

- ・ 2018年度〔第1回〕：2018. 6. 4 【参加率 100%】
- ・ 2018年度〔第2回〕：2018. 10. 17 【参加率 100%】
- ・ 2018年度〔第3回〕：2019. 3. 20 【参加率 100%】

2019年度の開催状況は以下の通りである。

- ・ 2019年度〔第1回〕：2019. 6. 19 【参加率 100%】
- ・ 2019年度〔第2回〕：2019. 10. 23 【参加率 100%】
- ・ 2019年度〔第3回〕：2020. 3. 9 【参加率 100%】

2020年度の開催状況は以下の通りである。

- ・ 2020年度〔第1回〕：2020. 6. 29 【参加率 100%】※メール審議
- ・ 2020年度〔第2回〕：2020. 10. 7 【参加率 100%】
- ・ 2020年度〔第3回〕：2021. 2. 15 【参加率 100%】※臨時オンライン開催
- ・ 2020年度〔第4回〕：2021. 3. 25 【参加率 100%】※オンライン開催

c 委員会の審議事項等

審議事項は、「広島女学院大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会規程」第7条に委員会の任務として、①教員の資質開発、教授内容・方法の改善、教育評価システム、公開授業等の研究・実施を行い、②その他本学の教育活動の改善に資する活動に関する原則的な事項を検討し、必要な事項は将来計画委員会に諮る、としており、これらに関わる審議を行っている。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 学士課程教育の在り方についての研修会
- ・ 大学教育改革地域フォーラム
- ・ 大学教育の質的転換（H24中教審答申）についての研修会
- ・ 授業方法（アクティブ・ラーニング、遠隔授業、ICTツール等）についての研究・研修会
- ・ 教学改善（シラバス、ルーブリック、カリキュラム・マネジメント、アセスメント等）についての研修会
- ・ 卒業時の質保証についての研修会

- ・ 授業評価アンケートの実施・集計
- ・ 授業改善目標の設定・公開
- ・ 新任教職員のための研修会
- ・ 学生のコミュニケーション力を育むための研修会
- ・ これからの大学入試改革に向けての研修会
- ・ カリキュラムの評価設計と各科目の到達目標の設定（カリキュラム・マネジメントの確立）のための研修会
- ・ 大学を取り巻く環境～教育の質保証と情報公開～のための研修会
- ・ 学生の主体的な学びについての研修会
- ・ GPS-Academic(2019年度までは「大学生基礎力レポート」)からみる本学の特徴と指導についての研修会
- ・ 学外研修会（大学教育学会2020年度課題研究集会等）への参加促進

b 実施方法

開催決定時と開催一週間前に、大学ポータルサイトにて開催通知を行っている。また、教員と職員が協働して業務に携われるようにFDとSDを合同開催する研修会では、FD委員長と事務局長の連名で開催通知を行っている。校務等で参加できなかった教職員については、後日、資料の配付を行うこととしている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

新任教職員のための研修会は、新任式の翌日に開催している。また、各研修会に於いては、事務局から学内ポータルサイトで開催通知を行うとともに、文書による案内も行うようにして積極的な参加を促すようにしている。また、教員の参加状況については学科によって多少の差が生じているが、平均して70%台後半から80%台前半の高い参加率を維持している。2018年度の実施状況は以下の通りである。

- ・ 2018年度〔新任FD・SD研修会〕 : 2018. 4. 3 【教員参加率 100%】
- ・ 2018年度〔第1回FD・SD研修会〕 : 2018. 6. 12 【教員参加率 34.5%】
- ・ 2018年度〔第2回FD・SD研修会〕 : 2018. 11. 28 【教員参加率 77.2%】
- ・ 2018年度〔第1回FD研修会〕 : 2018. 12. 27 【教員参加率 73.7%】
- ・ 2018年度〔第3回FD・SD研修会〕 : 2019. 1. 23 【教員参加率 82.5%】

2019年度の実施状況は以下の通りである。

- ・ 2019年度〔新任FD・SD研修会〕 : 2019. 4. 2 【教員参加率 100%】
- ・ 2019年度〔第1回FD・SD研修会〕 : 2019. 6. 5 【教員参加率 85.7%】
- ・ 2019年度〔第1回FD研修会〕 : 2019. 6. 26 【教員参加率 76.8%】
- ・ 2019年度〔第2回FD研修会〕 : 2019. 8. 7 【教員参加率 62.5%】
- ・ 2019年度〔第3回FD研修会〕 : 2019. 9. 17 【教員参加率 62.5%】
- ・ 2019年度〔第1回大学院FD研修会〕 : 2019. 9. 25 【教員参加率 86.1%】
- ・ 2019年度〔第2回FD・SD研修会〕 : 2019. 10. 30 【教員参加率 78.6%】
- ・ 2019年度〔第3回FD・SD研修会〕 : 2019. 11. 20 【教員参加率 78.2%】
- ・ 2019年度〔第4回FD研修会〕 : 2019. 12. 26 【教員参加率 67.3%】
- ・ 2019年度〔第5回FD研修会〕 : 2020. 1. 7 【教員参加率 85.5%】

2020年度の実施状況は以下の通りである。

- ・ 2020年度〔新任FD・SD研修会〕 : 2020. 4. 2 【教員参加率 100%】
- ・ 2020年度〔第1回FD・SD研修会〕 : 2020. 9. 16 【教員参加率 87.3%】
- ・ 2020年度〔第1回FD研修会〕 : 2020. 10. 26 【教員参加率 85.2%】
- ・ 2020年度〔第2回FD・SD研修会〕 : 2020. 12. 18 【教員参加率 81.5%】
- ・ 2020年度〔第2回FD研修会〕 : 2021. 1. 6 【教員参加率 96.3%】
- ・ 2020年度〔第3、4回FD研修会〕 : 2021. 1. 7 【教員参加率 94.4%】
- ・ 2020年度〔第1回大学院FD研修会〕 : 2021. 2. 24 【教員参加率 82.4%】
- ・ 2020年度〔第3回FD・SD研修会〕 : 2021. 3. 10 【教員参加率 98.1%】

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生による授業評価アンケートを実施・集計することで、様々な改善点が浮かんでくることを踏まえ、2014年度からアンケート結果を受けての授業改善目標を立てることを、全専任教員に義務付けている。

2018～2020年度の提出率は退職者と休職者を除き100%であり、アンケート結果と同様にWebに公開している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

長らく授業評価アンケートを実施しているが、集計等を外部委託としていたことでアンケートが形骸化していると判断し、2015年度からアンケートをWeb実施すると同時に、集計業務も事務担当職員が対応することで問題点や改善点を即時に反映できる体制を整えた。また、学生の声を早期に把握できるよう中間アンケートの実施等についても委員会で検討を行い、2018年度後期から実施している。

2018～2020年度の実施時期と2021年度の実施予定は以下の通りである。

- ・ 2018年度〔前期期末〕： 2018. 7. 12 ～ 2018. 9. 5 【全学回答率 83.4%】
2018年度〔後期中間〕： 2018. 10. 29 ～ 2018. 11. 4 【全学回答率 48.4%】
2018年度〔後期期末〕： 2019. 1. 8 ～ 2019. 2. 17 【全学回答率 75.8%】
- ・ 2019年度〔前期中間〕： 2019. 5. 21 ～ 2019. 6. 3 【全学回答率 55.2%】
2019年度〔前期期末〕： 2019. 7. 16 ～ 2019. 9. 4 【全学回答率 77.5%】
2019年度〔後期中間〕： 2019. 10. 21 ～ 2019. 11. 3 【全学回答率 50.1%】
2019年度〔後期期末〕： 2020. 1. 8 ～ 2020. 2. 17 【全学回答率 69.0%】
- ・ 2020年度〔前期期末〕： 2020. 7. 20 ～ 2020. 9. 3 【全学回答率 83.4%】
2020年度〔後期中間〕： 2020. 10. 20 ～ 2020. 11. 3 【全学回答率 58.9%】
2020年度〔後期期末〕： 2021. 1. 8 ～ 2021. 2. 14 【全学回答率 72.1%】

※2020年度〔前期中間〕は新型コロナウイルス感染症による遠隔授業が実施され、例年と同様のアンケート環境の確保ができないため中止。

- ・ 2021年度〔前期中間〕： 2021. 5. 14 ～ 2021. 5. 27 (予定)
- 2021年度〔前期期末〕： 2021. 7. 9 ～ 2021. 9. 3 (予定)
- 2021年度〔後期中間〕： 2021. 10. 18 ～ 2021. 10. 29 (予定)
- 2021年度〔後期期末〕： 2022. 1. 7 ～ 2022. 2. 14 (予定)

b 教員や学生への公開状況、方法等

年度の集計結果は、冊子『学生による授業評価アンケート集計結果報告書』にまとめ、FD委員及び関連部署、希望する教職員等に配付し、2020年度からはデータにて結果の共有を行っている。

2014年度から全学・学年別・学科別の集計データを大学ホームページに公開し、一般からも閲覧可能な状態としている。2017年度秋学期からは、学科の学年別の集計データも追加公開とした。

各科目毎の結果については、全科目を大学ポータルサイトに公開しており、教員や学生はいつでも自由に閲覧できる。さらに、2017年度から全専任教員の『授業改善目標』も大学ポータルサイトに公開し、その旨をメールにて学生に周知している。2020年度も公開を実施し、学生への周知も継続して行っている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「児童教育学科」の設置の趣旨・目的は、教育学及び保育学の学問分野に基づき、児童の心理特性や発達特性を体系的に理解し、乳児期から小学生時期にかけての総合的な教育という視点から、教育・保育における基本的な考え方を修得するとともに、社会における教育の諸問題を解明していく力を身に付けながら、教育・保育に対する認識を深めることにある。また、家庭及び地域社会と密接に連携を取りつつ、これらと協働することによって地域における教育環境、子育て環境を整備していく実践的な力を育成し、これらの実践活動を通して課題を発見し、解決していくために必要とされる専門知識と技能の統合を図ることの能力の育成を図っていくことをめざしている。このうち「児童教育コース」においては主として小学校教諭一種免許状及び幼稚園教諭一種免許状を取得し、小学校教諭または幼稚園教諭をめざし、「幼児教育コース」においては主として幼稚園教諭一種免許状及び保育士資格を取得し、幼稚園教諭または保育園・こども園・施設等における保育士をめざすこととしている。このように複数の免許・資格を取得することによって、幼小連携、幼保一体化等の教育・保育における現代的な課題に柔軟に対応できる力の育成を目的としている。以上のような学科の設置の趣旨・目的を達成するために以下の取り組みを行った。

1. 入学生確保

平成30年度入試に向け、学科紹介パンフレット作成、ホームページ作成、高校生向け説明会、オープンキャンパスや入試説明会への参加、新聞・雑誌などからの取材受け入れ、高校訪問などを通して学科の教学内容とアドミッションポリシーの説明を実施した。平成30年度入試においては、入学定員の90名に対して189名の入試志願者を集め、入学者数は82名であった。このたびの入試状況及び新入生対象のアンケート調査結果を精査し、次年度は高校訪問や模擬授業を中心にその取り組み内容を十分に見直し、広報活動全般の強化を図ることとする。

2019年度入試に向けては、昨年度と同様の広報活動を行うとともに、高校生と直接的に関わる「高校内模擬授業」と「学外ガイダンス」の回数を増やした。2019年度入試においては、168名の入学志願者を集め、入学者は78名であった。次年度は昨年度同様に、「高校内模擬授業」と「学外ガイダンス」に重点を置くとともに、幼児・児童教育に関心を持つ高校生・教員が聴きに來る講演会等を企画する。

2020年度入試に向けては、高校訪問及び学外ガイダンスの数を増やし、幼児教育と児童教育に関心のある高校生や教員に対する広報活動の一環として学科主催の学会講演会を実施した。2020年度入試においては、152名の入学志願者数を集め、入学者は63名であった。今年度は生活様式が大きく変化することから、オンラインによって学生から高校生への直接的な広報活動を行うような発信方法を取り入れ、在学生の出身校に在学生の活躍を広報する取り組みを行う。また、地域範囲を拡大して県外の高校へのアプローチを行う。

2021年度入試に向けては、ホームページの学科ニュース掲載数を増やし、在学生や卒業生による発信記事を充実させた他、保幼小接続をキーワードとした学科PRイメージをうちだした。2021年度入試においては163名の入学志願者数を集め、入学者は61名であった。次年度は、オープンセミナー入試による入学者数増加への取り組みと、重点校・重点園に対する授業提供及び協力体制の強化への取り組みを行う。

2. 新入生オリエンテーション

新入生に対して4月当初に授業開始前のオリエンテーションを実施し、学科教育の基本理念と仕組み、人材育成目的、学修の特色などを説明した。加えて、学生生活全般と大学生としての自覚、学科の特色を考慮したキャリア形成、教職課程、履修方法などについてガイダンスを行った。

2019年度はOGからのメッセージを複数伝え、目標をもって大学生生活を送る意義を強調するとともに、4年後の卒業する自己の姿や、10年後の職業生活について意識させる取り組みを行った。

2020年度は、感染拡大によって学生主体のオリエンテーションキャンプの企画は実現できなかった。そこでキャリアプランニングの授業内容を学科全員で共有し、チューター制を活かして、入学生の提出物を丁寧に見取り、フィードバックを行ったり、定期的にコンタクトをとって個別相談に応じたりした。また、登校日にはチューターが、大学生活への不安を解消する働きかけや、遠隔授業での学修に躓きのみられる学生へのサポートを行うことで、オリエンテーションの充実を図った。

2021年度は4月当初にオリエンテーションを実施した。一人一人が自立して学ぶ態度の上に協働していくことがコロナ禍を生き抜く秘訣であることを伝え、学科教員が強力に支援する構えをもっていることを説明した。また、自分の時間を自分でコントロールできる価値を強調するとともに、保育者・教師に求められる基本的な生活習慣についてガイダンスを行った。

3. 初年次教育

1年次配当科目として、「教育学概論」など専門知識を得る科目に加えて、学科独自の工夫を凝らした科目を配置し、学科の教育体系を理解させるとともに、早期に卒業後の進路の方向付けができるようなきめ細かな指導を心掛けている。1年次配当の「児童教育基礎セミナーⅠ・Ⅱ」では、児童教育学・幼児教育学関連分野における研究内容と研究方法をグループで学修し、学習成果の発表を通して児童教育学・幼児教育学と関連分野の知識を獲得し、研究に対する心構えを植え付けている。また、「教職論」「保育者論」では、児童教育学・幼児教育学に関する基礎的な学びと学科での4年間を見通した学びや、卒業後の進路を学科生が把握できるように教学内容を教授している。

2019年度は、昨年度の実施内容を見直し、一人ひとりに対応したよりきめ細かな指導をする。

2020年度は遠隔授業になったため、1年次配当科目として位置づけられた「教育学概論」や、「保育の心理学」、「児童教育基礎セミナーⅠ」などの授業内容を遠隔用に見直し、保育・教育への関心が低下しないような工夫を心掛けた。

2021年度は、感染対策を行いながら対面授業において「伝え合う活動」を取り入れ、遠隔授業において、「双方向性を活かした授業」を増やすことができるよう改善を行う。

4. 英語教育

「基礎英語Ⅰ」から実践的な英語コミュニケーション能力と基礎的英語力を育成しつつ、将来、就職した教育・保育現場で活用できる英語力を身に付けることを目標にして授業を実施している。また、大学独自の「児童英語教員」の資格取得を目指すよう、「教室英語」「小学校英語研究Ⅰ・Ⅱ」などを履修させ、小学校教育でいきる英語指導ができる人材を育成にも力を入れている。

2019年度は、2年次に「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」「教室英語」を履修させ、英語指導の実力を高める指導を行う。

2020年度は、国際英語学科との連携を強化しながら引き続き英語教育を行うが、海外研修などの見通しがたちにくいことから、保幼小接続教育に着眼して取り組むようにした。小1プロブレムを解消すべく、英語教育においても、幼児教育コースと小学校教育コースの教育内容の共有と、系統性を意識する取り組みを行う。

2021年度は2020年度と同様に、国際英語学科との連携で英語教育を充実させていく。また今後に向け、幼児教育コースと児童教育コースの英語教育に関する科目配置を見直しを行っていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和3年7月30日 『自己点検・評価に関する報告書』を公表（予定）

b 公表方法

- ・大学ホームページ上

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成30年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価審査を受審
- ・平成31年3月 大学評価結果『適合』を受領
- ・令和7年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価審査を受審予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。